

乙 第 号

川口 千尋 学位請求論文

審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

報告番号	乙 第 号	氏 名	川口 千尋
論文審査担当者	委員長	教授	吉治 仁志
	委 員	教授	伊藤 利洋
	委 員	教授	庄 雅之
	(指導教員)		

主論文

Impact of Smoking on Pancreatic Cancer Patients Receiving Current
Chemotherapy

化学療法を施行した膵癌患者に対する喫煙の影響

Chihiro Kawaguchi, Masayuki Sho, Toshihiro Tanaka, Takahiro Akahori, Shoichi Kinoshita,
Minako Nagai, Satoshi Yasuda, Satoshi Nishiwada, Hideyuki Nisgiovoku, Kimihiko
Kichikawa, Yoshiyuki Nakajima

Pancreas 第44巻 第7号 1155-1160

2015年 10月発行

論文審査の要旨

膵癌は予後不良な疾患であり、進行癌で発見されることも多く化学療法の効果に及ぼす様々な因子の検索は臨床的にも重要な課題である。

膵癌の化学療法の施行・効果および予後に対する喫煙の影響について様々な観点から詳細に検討することが、本研究の目的である。

その結果、膵癌患者 262 例において Current smoker 群では、男性、若年者が有意に多く、切除不能症例においては、遠隔転移例の割合が Nonsmoker 群と比較して有意に多いことが明らかとなった。また、Current smoker 群において、化学療法施行前の白血球数、好中球数、ヘモグロビン値は Non-current 群と比較して有意に高値であり、Grade3以上の好中球減少症発生率も有意に低率であった。さらに、術後補助化学療法完遂症例 72 例において施行期間とゲムシタビン総投与量、無再発期間を比較したところ、Current smoker 群と Non smoker 群において有意差は見られず、切除例、切除不能例それぞれにおいて Current smoker 群と Non smoker 群との予後の比較においても全生存期間に有意差は見られなかったことを明らかにしている。

以上より、喫煙は膵癌患者の化学療法の施行には影響を及ぼさないことが明らかにした。さらに、今回初めて、喫煙が膵癌の長期予後に影響しない可能性が示唆された。

本研究は、膵癌患者の化学療法における生命予後改善に向けた因子を明らかにしており、消化器・総合外科学の進歩に寄与する有意義な研究と評価される。

参 考 論 文

- 1 . The administration of Celecoxib as an Analgesic after Liver Resection Is safe. Daisuke Hokuto, Takeo Nomi, Chihiro Kawaguchi, Takahiro Yoshikawa, Satoshi Yasuda, Shinsaku Obara, Ichiro Yamato, Takatsugu Yamada, Hiromichi Kanehiro, Yoshiyuki Nakajima. Digestive Surgery 34 :108-113, 2017
- 2 . The prognosis of Liver Resection for Patients with Four or more Colorectal Liver metastases Has Not Improved in the era of Modern chemotherapy. Daisuke Hokuto, Takeo Nomi, Ichiro Yamato, Satoshi Yasuda, Shinsaku Obara, Takahiro Yoshikawa, Chihiro Kawaguchi, Takatsugu Yamada, Hiromichi Kanehiro. Yoshiyuki Nakajima. Journal of Surgical Oncology, Publishied online 2016
- 3 . Laparoscopic resection of a hepatic mucinous cystic neoplasm: A case report. Shinsaku Obara, Takeo Nomi, Ichiro Yamato, Daisuke Hokuto, Satoshi Yasuda, Satoshi Nishiwada, Chihiro kawaguchi, Takahiro Yoshikawa, Takatsugu Yamada, Hiromichi Kanehiro, Yoshiyuki Nakajima. International Journal of Surgery Case Reports 24: 18-21 2016
- 4 . Pathological and clinical impact of neoadjuvant chemoradiotherapy using full-dose gemcitabine and concurrent radiation for resectable pancreatic cancer. Masayuki Sho, Takahiro Akahori, Toshihiro Tanaka, Shoichi Kinoshita, Tetsuo Tamamoto, Takeo Nomi, Ichiro Yamato, Daisuke Hokuto, Satoshi Yasuda, Chihiro Kawaguchi, Hideyuki Nishiohuku, Nagaaki Marugami, Yasunori Enomoto, Takahiro Kasai, Masatoshi Hasegawa, Kimihiko Kichikawa, Yoshiyuki Nakajima. Journal Hepatobiliary Pancreatic

Science 20: 197-205 2013

5. 大腸癌肝転移に対する手術先行は予後に悪影響を及ぼすのか？－手術先行の立場から－北東大督 野見武男 山戸一郎 安田里司 尾原伸作 川口千尋 中村信治 植田 剛 錦織直人 井上 隆 川崎敬二郎 中本貴透 小山文一 金廣裕道 中島祥介 癌の臨床 60 (5): 493-501 2014

6. 大腸癌肝転移に対する陽子線治療後の局所再発に対してサルベージ手術を施行した 1 例. 北東大督 野見武男 山戸一郎 安田里司 尾原伸作 川口千尋. 辻 泰子 青松幸雄 金廣裕道 中島祥介 日本消化器外科学会雑誌 48 (8): 684-690 2014

7. 生体肝移植を施行した再発肝芽腫の 1 例 州尾昌伍 金廣裕道 庄 雅之 北東大督 野見武男 赤堀宇広 童 仁 川口千尋 高濟峯 岡野永嗣 中島祥介 移植 46 (6): 586-591 2011

8. 直腸癌局所切除 経肛門的切除, 傍仙骨的切除, 経括約筋的切除 稲次直樹 吉川周作 増田 勉 内田秀樹 久下博之 大野 隆 横谷倫世 山口貴也 山岡健太郎 川口千尋 下林孝好 稲垣水美 臨床外科 65 (11): 374-380 2010

9. 肛門管癌の治療方針について 稲次直樹 吉川周作 増田 勉 内田秀樹 久下博之 大野 隆 横谷倫世 川口千尋 山口貴也 山岡健太郎 稲垣水美 下林孝好 臨床外科 65 (6): 838-845 2010

10. 軟骨肉腫同時性膵転移の 1 切除例 川口千尋 庄 雅之 赤堀宇広 木下正一 長井美奈子 朴木寛弥 城戸 顕 田中康仁 榎本泰典 大林千穂 中島祥介 膵臓 28 (6): 792-799 2013

11. 傍大動脈リンパ節転移を伴った横行結腸腺扁平上皮癌の 1 例 坂本千尋 石川博文 右田和寛 大山孝雄 山本克彦 渡辺明彦

日本臨床外科学会雑誌 68 (1): 142-145 2007

1 2. 門脈ガス血症発生の初期像が示された回腸壊死の1例

坂本千尋 高 濟峯 蜂須賀崇 小山文一 長尾美津男 檜塚久記

頼木 領 中島 祥介日本消化器外科学会雑誌 38 (3): 348-352

2005

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに消化器・総合外科学の
進歩に寄与するところが大きいと認める。

平成 29 年 3 月 7 日

学位審査委員長

消化器病態・内分泌機能制御医学

教授 吉治 仁志

学位審査委員

免疫学

教授 伊藤 利洋

学位審査委員（指導教員）

消化器・総合外科学

教授 庄 雅之